

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

それぞれの使命を果たすこと (P. F. ドラッカー)

1. いかなる組織といえども、本来の機能の遂行という最大の責任を果たさないならば、他のいかなる責任も果たせない。倒産する企業は、望ましい雇用主ではない。地域社会にとって、よき隣人でもない。経営者にとって最大の責任は、自らの組織に対するものである。本業において社会に貢献することである。
2. 大きな組織の長として公的な地位に就き、社会問題についてリーダー的な役割を果たしたとしても、自らの企業や大学を不振に陥れたのでは、公人とはいえない。単なる無責任である。与えられた信任に応えていない。組織がそれぞれに特有の使命を果たすことこそが、社会が関心を持ち、必要としていることだ。それぞれの組織が、それぞれの使命を果たすことが、組織にとっての存在理由である。
3. 組織の基礎となる原理は、私的な悪徳は公共のためになるのではない。個人の強みは公共のためになるのである。これがマネジメントの正統性の根拠である。マネジメントの権限の基盤となるべき理念的原理である。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2006年11月4日号)

経営者のための危機管理

現場を歩く

1. 2002 年夏、国産牛肉の偽装事件を起こし摘発された日本ハム。創業家一族が引責辞任し、後を継いだ藤井良清社長の下で再生に取り組んできた。先ず、何のためにこの会社は存在するのか。何をもち社会に貢献できるのか。真に目指すべきことは何か。等を突き詰めた。日本ハムの存在意義を全社員が見つめ直す中から「日本で一番誠実と言われる企業グループを目指す」というスローガンが生まれた。
2. 現場を歩く。これが藤井氏のコンプライアンス(法令順守)経営の基本だ。不正をさせない、不正を防ぐ仕組みやルール作りは確かに不可欠だ。だが仕組みを作っても、それを動かすのは人、現場である。社長が社長室でレポートを見ているだけでは、現場は何も変わらない。現場を歩き対話することで社長自身のメッセージが正しく伝わり、目標や課題が共有され、現場の意識が変わっていくのだ。(参考:「日経ビジネス」2006年10月23日号)

経営者のための経済学

地銀トップを目指す福岡銀行

1. 福岡銀行が中心となって 2007 年 4 月に設立する「ふくおかフィナンシャルグループ (FG)」が、近い将来に九州一円を制覇する可能性が高まってきた。公的資金を肩代わりして熊本ファミリー銀行を傘下に収め FG 設立の端緒とするのを手始めに、資本・業務提携関係にある九州親和ホールディングスも事業再生共同化で福銀と合意し、FG 入りするのは時間の問題とされている。
2. さらに熊本ファミリー銀行が最大の出資をしていた九州地区第二地銀 7 行で組織する「システムバンキング九州共同センター」(SBK)を離脱することを決めたため、SBK 内で第 2 位の南日本銀行もシステム負担を嫌って FG 入りするとの説が有力だ。そうなると、総預金量しめて 10 兆円。横浜銀行を追い抜いて業界トップのメガ地銀グループが出現する。

(参考:「選択」2006年12月号)

古典に学ぶ

実学と読書

「実学の人、志は則ち美なり。然れども往往にして読書を禁ず。是れ亦噎^{えつ}に因りて食^{はい}を廢するなり」
 (訳) 実行体験を尊ぶことを学問の目的とする人は実践躬行^{きゅうこう}を尚ぶ。これは立派であるが、往々読書をしない。これは、むせたからといって食をとらないようなものだ。(参考:佐藤一斎「言志四録」): PHP 文庫